

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15025

コミュニティセンター管理運営事業（指定管理分）（生涯

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	1	生涯学習の推進
取組方針	2	生涯学習の場の整備・充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 生涯学習課 田村 匡崇 435-1138
事業実施の根拠法令			関連課	読書活動推進課

1 事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要				
事業目的	市民の生涯学習、文化、地域活動の振興及び図書館の利用で、生活の向上、自己の充実をめざし、各人が自発的意思に基づいて学習できるようにする。	生涯学習活動の場として各種の講座を開設し、市民の学習活動を支援。 文化活動及び地域活動の場として、自主団体に会場を貸出。 市民図書館とネットワークを組み、資料の貸し出しなど図書館を運営。 管理運営の方法として、東部・河南・河西・河北・中央・北コミュニティセンターに指定管理者制度導入。				
事業内容		令和02年度 ・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書館の運営	令和03年度 ・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書館の運営	令和04年度 ・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書館の運営	令和05年度 ・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書館の運営	令和06年度 ・指定管理者制度導入 ・地域活動の場の提供 ・学習機会の提供 ・図書館の運営

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	386,741	364,681	380,404	369,781	466,099	454,458	412,504	0	412,504	0
伸び率(%)	△0.1%	△2%	△1.6%	1.4%	22.5%	22.9%	△11.5%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	24,205	22,692	14,273	14,584	16,828	17,202	16,828	0	16,828
	正規職員以外		0	2,994	2,994	0	0	0	0	0
	小計	24,205	22,692	17,267	17,578	16,828	17,202	16,828	0	16,828
国庫支出金	0	0	0	13,726	65,923	54,658	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	10,300	12,100	3,200	2,300	14,700	5,200	12,100	0	0	0
その他	43,107	31,186	42,315	34,631	42,249	40,212	38,419	0	38,419	0
一般財源(税等)	333,334	321,395	334,889	319,124	343,227	354,388	361,985	0	374,085	0
所要人数 (人)	正規職員	3.04	2.85	1.84	1.88	2.25	2.30	2.25	0.00	2.25
	正規職員以外	0.00	0.00	0.89	0.89	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	管理運営委託料 381,129千円、図書購入費 6,727千円、駐車場使用料 6,103千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
講座、教室等の実施数		件	129	129	129	160	160
			90	117	154		
			69.8%	90.7%	90.7%	%	%
コミュニティセンター稼働率(図書室利用者を除く。)		%	60	60	60	60	60
			39.9	43.2	49.5		
			66.5%	72%	82.5%	%	%
貸出資料数(図書室) ※河西コミュニティセンターには図書室がありません。		点	610,000	610,000	610,000	610,000	610,000
			601,464	574,195	535,046		
			98.6%	94.1%	87.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない
				減少している
				見直しが必要
				市が行う必要性は薄れている
				緊急性は薄い
				達成していない (70%未満)
				貢献度は低い
				できる
				見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	コロナ禍により、コミュニティセンターの使用方法などに制限が加わった部分もありましたが、常に最新の知見に基づく感染拡大対策を取り入れながらスムーズな運営が行われている。
見直し・改善内容	施設経年劣化による施設の不具合に対応した修繕が増えている。 使用者が安心して快適に使用できるよう、日常点検により、不具合の早期発見に努め、施設の維持管理を行う。